

企業名：世紀東急工業株式会社

レポート名：コーポレートレポート 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

豊かな地域社会づくりに貢献する生活基盤創造企業。世紀東急グループの「2030年のあるべき姿」を示す長期ビジョンを「人の成長と企業の成長を両立し持続可能な社会の実現に貢献する真に強靱な企業グループ」と定めている。確かに、全国各地に加え、ミャンマーやグアムにおいて事業を展開しているが、これは当社が中期経営計画で挙げている5つの基本方針のうち、1「安定収入の拡大」、2「収益源の多様化」を達成するための事業戦略であると考察できる。ゆえに当社は、将来的にも地域社会に根ざした事業展開を基本とするとともに、健全な人材育成を行い持続可能な経営を図っていると私は理解した。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

「仮にある企業とその従業員全員がこの世からいなくなった場合、我々がどのような困難に直面するか」と考えたときにわかる、その企業が社会に提供している価値を競争性優位とみなした場合、世紀東急の競争性優位を見出すのは難しい。というのも、当社のコーポレートレポート 2021 で示されている提供価値は、「地球環境に配慮しながら、豊かな地域社会の実現に貢献」と「中長期的な企業価値の向上」の2点であり、世紀東急のみが持つ絶対的な提供価値であるとは考えられないからだ。また、世紀東急の大株主は東急建設株式会社であり、東急建設もまた建設業界を担う企業、かつ、世紀東急の上位互換と言える企業に当たると考えられる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

上記で書いた通り、世紀東急の現在の競争優位性はあまり見出せない。一方で、「4.この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか」と内容は重複するが、当社はこれまで培ってきた組織文化を基盤とした適切な人材育成を重視していることを長期ビジョンで示している。そして、この方針の成果として長期にわたる安定した経営活動が見込める。この点を考慮すれば、世紀東急は他企業と比べて持続性を伴った優位を持っていると理解できる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

人的資本の価値向上は期待できると考える。なぜなら、当社の長期ビジョンのための中期経営計画、および ESG 課題への取り組みにおいて、人材の「採用・定着・育成」を非常に重視していることが明瞭であるからだ。世紀東急グループの持続的な成長を目的として、様々

な雇用形態、教育・研修の充実、ワークライフバランスの整備を行なっている。す

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

安定的・健全な経営活動を目指すことがメインに書かれており、今現在における世紀東急が持つ強み、すなわち競争性優位が曖昧であると感じた。そのため、将来性だけでなく、現在の状況についてより詳しく言及することも可能であると考え。一方で、このコーポレートレポートの目的が非財務情報を示すことであるという面から考えれば、ESG 課題への取り組み、人的資本の価値向上について具に書かれているため、目的を十分に果たした報告書であるとも言える。